

「令和2年度 静岡県臨床検査精度管理調査報告書（病理検査部門）」
アンケート結果追加資料、正誤表について

調査報告書では掲載できていなかった「アンケート結果まとめ」について、また報告書における訂正必要箇所につきまして、追加資料としてご報告させていただきます。

【アンケート調査結果 まとめ】

1. プレアナリシスにおける作業工程についてのアンケート

- ・ プレアナリシスにおける作業工程の影響因子に関して、各施設の設備や人員の中で可能な限りの対応がなされている。
- ・ 項目によって現時点ではその対応策がない施設においても『今後対応していかなければ！』という意識が感じられる。
- ・ 時間や温度などの具体的な記録管理や規程・マニュアルの整備となると、現状からあと一歩が踏み出せずにいる施設もあるように感じる。
- ・ 実際に運用が進んでいる施設のマニュアルや記録用紙、運用までの経緯などの具体的な情報が共有できれば、各施設でさらに進んだ管理体制を構築できる可能性がある。

2. 病理検査室の運営に関するアンケート

- ・ 検体取り違い防止などの医療安全に関わるシステム運用や認証体制は、検討中の施設を含めると比較的多くの施設で導入あるいは準備されている。
- ・ 自動包埋装置および自動染色装置は調査対象施設すべてに導入されているが、運用方法については様々である。
- ・ バーチャルスライドスキャナーの導入施設数はまだ半数弱。研修会等を利用して、バーチャルスライドスキャナー導入施設の状況（メーカー、導入の経緯、運用方法など）を知る機会があれば、今後導入を考える施設への情報提供や、検討施設数の増加につながるかもしれない。

3. 令和3年度調査項目についてのアンケート

- ・ 県内施設で核酸レベルの品質確認が可能な施設はまだ少ない。
- ・ 参加施設から未染標本を回収し、核酸抽出、核酸品質確認を行うことに対して協力的な施設が多いことが分かった。
- ・ 施設間で差はあるが、倫理面の問題は無視できないため慎重な計画が必要。

4. 共通アンケート病理検査検体の取扱い

- ・ 病理検体の取扱いに関する各種条件については、病理検査未実施施設においても、比較的把握されている項目が多い。
- ・ 項目によっては『わからない・知らない・把握できていない』ことが2～3割を占める。
- ・ 今後、その『わからない』ことのある手術室やその他、病理検体を取扱う他部署への調査を試みることで、今より良い検体取扱い方法や、具体的に改善できる業務が見つかる新たな一手となる可能性がある。

5. アンケート調査総括

アンケート結果には正解・不正解があるものではなく、自施設における現在の病理検体取扱いの方法が患者さんの治療にとって最も的確であるかどうか、改めて他施設と比較していただくことで、業務の見直しや改善に本調査結果を活用して頂きたい。

【正誤表】

「令和2年度 静岡県臨床検査精度管理調査報告書」に下記の誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

・ P151 表 6-7-2 Podoplanin 染色 一次抗体 / 染色方法等 比較表

一次抗体 メーカー	clone	染色装置 /染色法	検出系 試薬	賦活処理	評価別施設数			
					A	B	C	D
Agilent	D2-40	Roche	Roche	熱処理	2	誤 1 正 2	-	-
				賦活なし	-	1	-	-
		Leica	Leica	熱処理	3	-	-	-
				賦活なし	-	1	-	-
		ニチレイ	ニチレイ	誤)ニチレイ 正)熱処理	1	-	-	-
				熱処理	1	-	-	-
賦活なし	-	1	-	-				
Roche	D2-40	Roche	Roche	熱処理	3	1	2	-
		Leica	Leica	熱処理	-	-	1	-
ニチレイ	D2-40	Leica	Leica	熱処理	2	-	-	-
		Roche	Roche	賦活なし	-	1	-	-
		用手法	Agilent	熱処理	2	-	-	-
		用手法	ニチレイ	熱処理	1	-	-	-